

# 第1学年2組 国語科学習指導案

指導者

1. 日時・場所 令和5年11月22日(水) 5校時 1年2組教室

2. 単元名 みてみて!ぼく・わたしのじどう車ずかん  
教材名「じどう車ずかんを つくろう」(光村図書)

3. 単元構想

〈子どもの実態〉

。

〈教師の願い〉

〈テーマに迫るための手立てや工夫・日常的な取り組み〉

低学年の目指す子ども像

『友達の話最後まで聞いたり、自分の思いを相手に話したりすることができる子』

(1) 自分の思いを言葉で表現するために

- ・朝の会でのスピーチ活動では、話し方名人「かきくけこ」を意識して聞き手に伝わりやすい話し方で、大勢の前で話すことになれるようにしている。
- ・振り返りの型を示し、今日の授業で学んだこと、友達の意見で学んだこと、これからは活かせることの3つの視点を意識して書くように声かけをしている。

(2) 語彙を豊かにするために

- ・朝やクラスタイムに読書や読み聞かせを行っている。

(3) 言語活動が充実するために

- ・学級会を行い、学級全体で話し合う時間を定期的に設けている。
- ・自分の意見や考えを友達に説明する活動を行っている。

(4) 認め合う学級風土

- ・聞くことについての定着を図るために、聞き方名人「あいうえお」を常時見えるように掲示しておく。
- ・帰りの会で、1日の中で見つけた友達の良さを伝え合う活動を行っている。

〈主たる言語活動〉

自動車の「仕事」と「つくり」を説明する自動車図鑑をつくる。

4. 単元目標

- ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識・技能〕((2) 情報の扱い方 ア)

- ・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

〔思考・判断・表現等〕(B 書くこと (1) イ)

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔学びに向かう力、人間性等〕

5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿勢
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2) ア)	・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B (1))	・分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、自分でも自動車図鑑を作ろうとしている。

6. 学習指導計画 (5時間)

次	時	【】 評価規準 ☆評価方法	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
一	1	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 ☆発言・観察 「じどう車ずかん」の作り方を話し合うことを通して、学習の見</p>	<p>○「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しをもつ。</p>	<p>・たくさんの図鑑や教師の手本を用意して、図鑑を作るイメージをもちやすくする。</p>

		通しをもとうとして いる。		
二		じどう車ずかんを作ろう。		
	2	<b>【知識・技能】</b> ☆記述 「しごと」と「つくり」 の関連を考えている。 <b>【思考・判断・表現】</b>	○本などを使って紹介したい自 動車の「しごと」について調 べ、分かったことを文にまと める。	・調べたことをメモする際、「し ごと」と「つくり」で分けてメ モを取ることで、何を調べる 時間なのか明確にする。
	3	☆記述 紹介した自動車の「つ くり」について情報を 集め、「しごと」に合わ せたつくりを選び、伝 えたいことを明確に している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ☆記述 調べたことをもとに 「しごと」と「つくり」 の順で「じどう車しょ うかいカード」を書い ている。	○本などを使って紹介したい自 動車の「つくり」について調 べ、分かったことを文にまと める。  ○「じどう車しょうかいカード」 を書く。	・調べたことの中で何を清書す るのか、友達と話し合う時間 を設けることで書きたいこと を明確にする。  ・「じどう車くらべ」と同じ形の ワークシートを使うことで、 苦手な子も取り組めるように する。
	④			
三	5	じどう車しょうかいカードを読み合おう。		
		<b>【思考・判断・表現】</b> ☆発言・観察 「じどう車しょうか いカード」を読み合っ て感想を伝え合うこ とを通して、自分の文 章のよいところを見 つけている。	○完成したじどう車しょうかい カードを読み合い、感想を伝 え合う。 ○学習を振り返る。	・授業での読み合いを行った後 にも、じどう車ずかんコーナ ーをつくりお互いに読み合え るようにすることで、自分や 友達の文章のよさに気付ける ようにする。

7. 本時の学習（4／5時）

(1) 目標 調べたことをもとに、「しごと」「つくり」の順で「じどう車しょうかいカード」を書くことができる。

(2) 展開

【】評価規準 ☆評価方法	○主な学習活動	・指導上の留意点
	○前時までの活動を確認する。 ○本時のめあてを確認する。	・「しごと」「つくり」の順序で書かれていたことを確認する。
「しごと」→「つくり」の順で「じどう車しょうかいカード」をかこう。		
【思考・判断・表現】 ☆記述 調べたことをもとに「しごと」と「つくり」の順で「じどう車しょうかいカード」を書いている。	○教師のつくった「じどう車しょうかいカード」をみて、書き方を確認する。 ・最初に乗り物の名前を書く。 ・「しごと」→「つくり」の順で書く。  ○「じどう車しょうかいカード」を書く。 ・わかりやすく書きたい。 ・メモを見たら書けそう。 ・知っていることをひとことメモに書こう。  ○本時の学習を振り返る。 ・調べたことをわかりやすく書けた。 ・自分の図鑑がつくれて楽しかった。	・どこに何を書くのか確認することで安心して書き始められるようにする。  ・「じどう車くらべ」と同じ形のワークシートを使うことで、苦手な児童も取り組めるようにする。

参観の視点：「しごと」と「つくり」の順で文章を書くために、本時の手立ては有効であったか。

8. 板書計画

